主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　4

箱船を建造する――時代のビジョンにしたがってわたしたち自身の救いを成し遂げることにより、わたしたちの経験においてキリストを建造し、召会を建造する

聖書：創 6:5-22．ピリピ 2:12-13

Ⅰ．箱船はキリストの予表であり、それは個人のキリストだけでなく団体のキリスト、召会でもあり、召会はキリストのからだ、新しい人です――Ⅰペテロ 3:20-21．マタイ 16:18．Ⅰコリント 12:12．エペソ 2:15-16．コロサイ 3:10-11：

Ａ．箱船を建造してその中に入ることにより、ノアは洪水による邪悪な世代に対する神の裁きから救われただけでなく、その世代から分離されて新しい時代に入れられました――創 6:5-22。

Ｂ．同じように、召会を建造して召会生活の中に入ることにより、わたしたちは大患難による今日の邪悪な世代に対する神の裁きから救われ、その世代から分離されて新しい時代、千年期の時代に入れられます――マタイ 24:37-39．ルカ 21:36．啓 3:10。

Ⅱ．ノアが建造した箱船は、神の救いである実行上の現在のキリストを表徴します。ですから、箱船を建造するとは、わたしたちの経験においてキリストを建造することであり、それはわたしたち自身の救いを成し遂げて、キリストのからだ、団体のキリストを建造することです――ピリピ 2:12-13．参照、4:13．ヨハネ 14:30．ローマ 1:9：

Ａ．わたしたち自身の救いを成し遂げるとは、ノアの模範に従うことです。彼が箱船を建造したのは自分の想像にしたがってではなく、絶対に神の啓示と信仰による神聖な指示にしたがってです――創 6:9, 15 前半．ヘブル 11:5-7：

１．箱船には天に向かって光のためにただ一つの窓、一つの口があったように、神の建造には一つの務めを通してただ一つの窓、一つの啓示、一つのビジョンがあります――創 6:16．使徒 26:19．Ⅰテモテ 1:3-4。

２．あらゆる時代にその時代のビジョンがあり、わたしたちは時代のビジョンにしたがって神に仕えなければなりません。神の言葉は、あらゆる時代に彼がただ一つのビジョンを人に与えることを啓示しています――使徒 26:19．エペソ 1:17．3:9。

３．各時代を通して、主を愛し主を畏れる多くの聖徒たちがいましたが、彼らがみなその時代に合ったビジョンを持っていたと言うことはできません――使徒 15:35-39．18:24-25．19:1-2．21:18-21。

ａ．多くの主を愛する者が過去の世紀を通して起こされましたが、彼らが一つ心になることができなかったのは、各自が保持するビジョンに程度の違いがあったからです。彼らが見たビジョンの程度が違っていたので、自然に一つ心がありませんでした。

ｂ．聖霊が動いているとき、ある人は従うことを決め、ある人はとどまることを決めます。聖霊が動けば動くほど、彼に従う者はますます少なくなります。

ｃ．もしわたしたちのビジョンが最新のものでないなら、わたしたちが一になることは不可能です――箴 29:18 前半。

4．わたしたちは、現在の時代における神の務めの必要に合う同労者となるように祈らなければなりません（添付を参照）。

B．わたしたち自身の救いを成し遂げることは、神の唯一の働きにおいて神と共に働くことです――Ⅱコリント 6:1 前半：

1．務めの唯一無二の働きは、手順を経た三一の神であるキリストを人の中に供給して、彼がご自身を彼らの存在の中に建造し、キリストのからだを建造することです――創 6:14．Ⅰコリント 3:6-12。

2．箱船の三階は三一の神を表徴します――創 6:16：

a．その霊はわたしたちを御子にもたらし、御子はわたしたちを御父にもたらします。わたしたちは御父に来るとき三階にいます――ルカ15:4-7, 8-10, 18-23．エペソ2:18。

b．わたしたちは、三一の神との最も深く最も高い親密さの中に入る必要があります。それは、彼がわたしたちを「三階」にもたらして、彼の奥義、秘密、隠された宝を見せるためです――ヨハネ 1:14, 16-18．Ⅰヨハネ 1:3, 5．4:8, 16．Ⅰコリント 2:9．Ⅱコリント 2:10．出 33:11。

C．わたしたち自身の救いを成し遂げることは、ピリピ人への手紙に啓示されたキリストの経験を蓄積してキリストのからだを建造することです：

1．ピリピ第 1 章で救いとは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給、キリストのからだの供給によって、あらゆる環境の中でキリストを生き、キリストを大きく表現することです―― 19-21 節。

2．ピリピ第 2 章で救いとは、命の言葉を提供することによってキリストを輝かし出し、すべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行なうことです――12-16 節。

3．ピリピ第 3 章で救いとは、わたしたちの目標としてのキリストを追い求めることで完全に占有されることによって､キリストをわたしたちの義として生かし出し、彼をわたしたちの最高の享受とすることです―― 7-14 節。

4．ピリピ第 4 章で救いとは、キリストとの親密な交わりの中で彼をわたしたちの十分なことの秘訣として享受し、すべての事を、わたしたちの勢力としての彼の中で行なうことによって、神の属性の実際としてのキリストで満たされた人の生活をすることです―― 5-13 節。

D．わたしたち自身の救いを成し遂げるためには、忠信で思慮深い奴隷とならなければなりません――「主人が一家の上に立てて、定められた時に食物を与える忠信で思慮深い奴隷は、だれであろうか？　主人が来た時、そのように行なっているのを見られる奴隷は幸いである。まことに、わたしはあなたがたに言う．主人は彼に自分の全財産を管理させるようになる。しかし、その邪悪な奴隷が心の中で、『わたしの主人は来るのが遅れる』と言い、奴隷仲間を打ちたたき始め、酔っ払いどもと食べたり飲んだりするなら、その奴隷の主人は、思いがけない日、知らない時に来て、彼を断ち切り、偽善者たちと同じ目に遭わせる。そこでは、泣き叫んだり歯がみしたりするであろう」――マタイ 24:45-51。

©2005 Living Stream Ministry

ウオッチマン・ニーが務めを再開した時期のメッセージ記録

神の最終目的と現在の必要

日時：1948 年 1 月 15 日午前
場所：広東汕頭
メッセージ：ウイットネス・リー兄弟

中国におけるキリストの召会の三つの時期――およそ 1850 年から 1950 年までの中国における百年の区分の歴史から。

A．福音の時期
B．復興の時期
C．命の時期

今日、第三の時期にあって、神はもはや霊的巨人を必要とされません。神が必要とされるのは、からだの証しです。今日、わたしたちはただ肢体となる必要があります。小さな肢体は肢体であり、大きな肢体も肢体です。どの肢体も、からだ全体となることはできません。全召会が立ち上がって福音を宣べ伝える時、人は、自分を救ったのは召会であると言うでしょう。救ったのは某博士であるとは言いません。今日、それが福音であれ、復興であれ、命であれ、すべてはこの目的のためです。今日は、同労者が単独で主に仕える時ではなく、召会全体が立ち上がって共に主に仕える時です。

1 月 15 日午後の自由な交わり――
四種類の働き人

「今日、四種類の働き人があります。第一は、現在の時代にあって神の務めの必要に応じる同労者です。これは、主に対処された、一つ心である少数の人々です。第二種類は若い同労者です。彼らは進んで導きを受け入れ、年長の同労者たちと協力し、進んで従い、へりくだって従うことを学びます。第三種類は、前面の同労者に進んで従おうとせず、宗派に属していませんが、わたしたちと交わりの中にとどまるのを喜びます。第四種類は、宗派の伝道者、自由な巡回伝道者です。今日わたしたちが必要とするのは、第一種類と第二種類の同労者です。

同労者はある場所にいる時、その場所での地方召会と協力しなければなりません。働きと召会は、互いに分離することはできません。同労者はある場所で働いている時、同時にその地方召会の一人です。召会が聖徒たちに働きを割り当てる時、同労者は地方の兄弟として同じ立場に立っているべきであり、同じように割り当てにあずかるべきです。

第三種類と第四種類の同労者について、わたしたちは彼らに、自分の道を選んでもらうことができるだけです。神はある人々には、わたしたちと同じ道を歩むように案配されませんでしたから、わたしたちはあえて彼らに何も言いません。状況がどのようであっても、わたしたちはここにいて、神がわたしたちに割り当てられた働きをします。わたしたちは他の人の働きがどうであるかについて、干渉することはできませんし、ここで他の人の『働き』を破壊することをしません」。